

# アイテム

アートな伊丹を「観る・行く・体験」

## アイテム

2013.10.12

秋号

公益財団法人 伊丹市文化振興財団

TAKE FREE



この秋、伊丹は  
世界の中心。

特集1 / 伊丹市立工芸センター  
伊丹国際クラフト展  
「ジュエリー」  
受賞作品決定！

特集2 / アイホール  
ホンマタカシ×contact Gonzo

本で解決！  
お悩み  
相談室

ダイエットをしたいのですが、  
楽な方法はないですか？

(26歳切実なOL)

明るく楽しいお悩み募集中 図書館南分館まで！



本のことなら  
おまかせ！  
みなみさん

みなみさんの  
オススメ本



『お腹からやせる食べかた』  
柏原ゆきよ・著  
(講談社)

〇〇ダイエットとかよくテレビで見るけど、試してみて挫折した経験ありませんか？やっぱり食べたいものは食べながらダイエットしたいわよね。「食べかた」だったら皆、気軽に始められるんじゃないかと思って、この本を読んだら目から鱗だったの！早速私もトライするわ。

うちのねえちゃんもやせたいって言うてるんだ。でも食べるのガマンしたくない、ハードな運動はキライ、ジムも面倒臭い、だって。女ってワガママだな。そんなみんなにオススメなのがこの本。これなら家の中でテレビを見ながらでもできちゃうぞ。さっそくねえちゃんにもオススメしてくるぜ！

ぶんたくんの  
オススメ本



『下半身からみるみるやせる腰回し！ダイエット』  
SHINO・著  
(三笠書房)



図書館大好き！  
ぶんたくん

ラスタホール1Fの図書館  
伊丹市立図書館 南分館

南野2-3-25 ☎072-781-7333

アイテム

2013年10月1日発行(季刊秋号・通巻77号)  
発行:公益財団法人伊丹市文化振興財団  
編集・デザイン/平井和哉(O.1.knot)

〒664-0895 伊丹市宮ノ前1-1-3  
いたみホール(伊丹市立文化会館)内  
tel.072-778-8788 fax.072-778-8585  
http://hccweb1.bai.ne.jp/itamihall/zaidan/  
e-mail itami-kikaku@bcb.bai.ne.jp



アイホール/ホンマタカシ×contact Gonzo「タイトル未定」  
(12/7(土)19:00~、12/8(日)17:00~)2組4名様 ※締切/10月31日  
プレゼントをご希望の方は、ハガキまたはメールで  
郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、アイテムの感想をご記入の上、  
上記、文化振興財団宛「アイテムプレゼント係」まで。  
当選の発表はチケットの発送をもってかえさせていただきます。

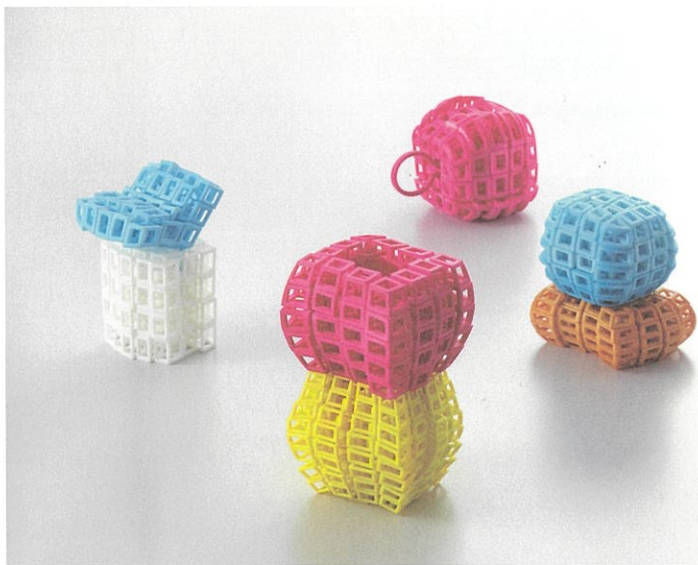
みやのまえ  
文化の郷  
美術館  
工芸センター  
伊丹郷町館  
補完文庫



特集 この秋、伊丹は  
世界の中心。  
伊丹国際クラフト展「ジュエリー」  
受賞作品決定！

取材・文/平井和哉 (0.1knot)

表紙写真/大賞「The Space 2013」YEH WEN-MIAO (TAIWAN)  
写真上/準大賞「Sketch Series-Seashell XX I ~XXVII」  
CHEN YING HSIU (TAIWAN)  
写真下/伊丹賞「SMALL CITY」DIXON-WARD Bin (AUSTRALIA)



## 伊丹国際クラフト展を 観に行ったことありますか

今回の特集のタイトル「この秋、伊丹は世界の中心」。決して「セカチュー」をパロッただけのタイトルではない。

で、見出しで「観に行ったことありますか？」と聞いてますが、筆者は行ったことがないので、すみません。

だからその全貌を知らなかったわけなのだが、今回事前の準備から審査にかけてを取材させてもらって、そのスケールの壮大さと、イベントに懸けるスタッフの熱い想いをひしひしと知ることになった。

「伊丹が世界の中心になる」。こ

のフリーズが決して大袈裟なものではないことを、読者の方に知ってほしいのだ。

今回で16回目を迎えるこの国際クラフト展。「酒器・酒盃台」と「ジュエリー」というテーマを交互に行っている。最初のころは主に国内の作家による出展だったと思うだが、回を重ねるごとに出展者や審査員の先生のネットワークにより、いつの間にかほぼ全世界の作家の知るところになり、今回の「ジュエリー」は世界14カ国から338人、1303点の応募を集めるまでのビッグイベントとなった。

事実、前々回台湾の作家がグッドマテリアル賞を受賞したとき、台湾のテレビ局が授賞式と展示イ

ベントを取材。現地でも大々的に放映されるなど、非常に注目度の高いイベントなのだ。

## 工芸センターの「本気」

そんなイベントを運営するスタッフたちに密着させてもらい、分かったこと。それはスタッフの異常なまでの「本気度」の高さだ。年に一度の工芸センターの主軸イベントである。全員が必死になって準備・運営するのは、ごく当たり前のことかもしれない。が、筆者はこういったイベントの裏側を何度となく取材させてもらっているが、ここまでスムーズにスピーディーに、そして連携が取れた、なおかつ笑顔の絶えない現場

にはお目にかかったことがない。それはきつと芯から「本気」であることの証しに違いないと思うのだ。

当日は10000点を超える作品が会場を埋め尽くすから、そんなに広いスペースは確保できない。だが、その中をスタッフたちは縦横無尽かつ審査員の邪魔にならないように段取りをする。たった一日、わずか6時間ほどの時間で8点の入賞作品を決定させるため、完璧な動線を確認するという繊細さが必要なのだ。

受賞した作品もイベントの内容も世界トップレベル。そこに辿り着いたのは、これまた世界トップレベルの運営があることを、ぜひ感じてほしいと、切に思う。

これら一連の作業は  
わずか10日ほどの間で  
行われた。  
しかもスタッフは  
館長以外全員女性だ。

## 搬入



審査会場に長机を並べる。



日本、そして世界各国から  
多くの作品が到着！



スタッフ総出で会場に作品を  
運び入れる。



作品が並べられた会場。



審査員からの質問に  
迅速に対応するスタッフ。



大賞が決定した瞬間。



審査員の票を集計し、一次審査  
から二次審査へ。

## 審査日



図録用の作品撮影。

入賞・入選以外の作品を  
梱包していく。



机を運び出し撤収完了！

## 審査後

この秋、伊丹は  
世界の中心。  
伊丹国際クラフト展「ジュエリー」  
受賞作品決定！

## Interview&Info

工芸センター館長の大西可久さんと  
審査委員長の外館和子先生に  
お話を聞いてみた。



工芸センター館長  
大西可久さん

世界に誇れるクラフト展であるために最も気をつけていることは「絶対的な公平性」を保つことだと思っています。そのためには審査員の先生方に、いかに全ての作品を等しい条件で見えていただくかが重要です。一定の陳列をするだけでなく、審査方法や時間の配分などの環境面も大切ですね。

そのルールを完璧に守りつつ、我々スタッフの意識を高め、一流の先生方に厳しい審査をしていただき続けたおかげで、今のように世界各国から注目されるイベントに成長したのだと思います。

まだまだ改良の余地はありますが、今後も伊丹国際クラフト展が世界に誇れるイベントであり続けられるようにしていきたいと考えています。



美術評論家  
とだて  
外館 和子さん

従来のいわゆる「ジュエリー」、貴金属で作られた装飾品については、日本よりも西欧がリードしてきたと思われます。

ところが近年、ジュエリーの概念が変化しつつあり、またジュエリーと人との関係にも多様なあり方が見られるようになりました。素材に関しても様々なものが使われ始め、日本の作家の意識も変わってきています。そんな中、この伊丹で国際的なコンペティションが行われている意義は非常に大きいです。

今回受賞した作品はどれも完成度が高く、かつユニークな発想を持ったものばかりでした。これからも本展を舞台に、日本の、世界のジュエリーが、さらに表現を拡げ、発展していくことを願っています。

工芸の企画展と講座など

**伊丹市立工芸センター**

宮ノ前2-5-28 ☎072-772-5557

伊丹国際クラフト展「ジュエリー」入選作品展

11月16日(土)～12月23日(月・祝)。月休(祝日の場合、翌日休)。

10:00～18:00(入館は～17:30)。

入場無料

表彰式 / 11月16日(土) 13:00～



Photo:Ka Fai Choy

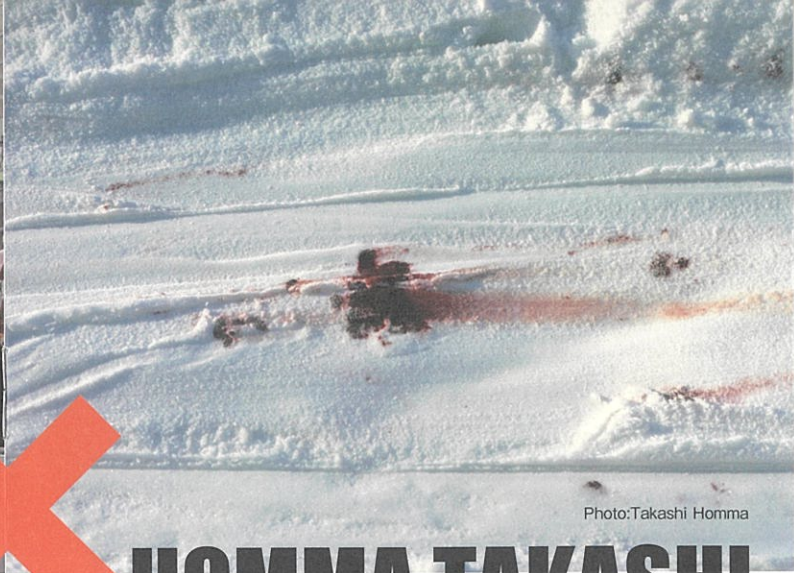
# CONTACT GONZO

## コンタクトゴンゾ

2006年結成。contact Gonzoとは、公園に集まった集団の、そして方法論の名称、つまりローファイなスパークである。その公園の奥には山がある。肉体の衝突を起点とする独自の牧歌的崇高論を構築し、パフォーマンス作品や映像、写真作品を制作。現在、事務所を自分たちで作りながら、そのスペースで時速百キロで飛ぶ果実を受ける肉体を観察したり耳を澄ましたりしている。



Photo:Takashi Homma



# HOMMA TAKASHI

## ホンマタカシ

1962年東京生まれ。  
2011年から2012年にかけて、自身初の美術館での個展「ニュー・ドキュメンタリー」を日本国内三カ所の美術館で開催。よい子のための写真教室」がある。  
写真集多数、著書に「たのしい写真 現在、東京造形大学大学院 客員教授。  
<http://betweenthebooks.com>

### コンタクトゴンゾ 塚原悠也さんに 直撃インタビュー

コンタクトゴンゾは、まるで股り合いの喧嘩のように身体の接触を繰り返すパフォーマンスで世界的にも評価を得ているグループだ。それまで野外やパブリックスペースでの活動が主だったのが、二年前、アイホールと関西を拠点とするアーティストとの共同製作事業「テイク・ア・チャンス・プロジェクト」に選出されたことをきっかけに、劇場空間での作品創作に着手。一作目は二つの集団が互いに要塞をつくり乱闘と見紛うような激しいパフォーマンスを発表、二作目は一転して出演者不在で音だけで身体を感じさせる作品

を創作。そして、このプロジェクトの集大成となる三作目は、果たしてどんな成果を披露してくれるのだろうか。

### 写真家 ホンマタカシさんとの コラボレーション

「ホンマさんは、すごくソリッドでミニマルな方法で作品に辿り着いてる方だと思っんです。そんな方と一緒に作品を作るにあたって、どんなことを要求されるのだろうかと考えると、すごく楽しみです」

今までの自分たちの表現は、即興性や偶発性の高いパフォーマンスを主に手がけてきたが、今回はかなり厳密なことをやることになる」と塚原さんは言う。

塚原さんとホンマさんは、数年前、ロシアでのイベントで一緒になって以来、懇意にしている「以前から何か一緒にやろうよって言うってもらっていたので、それならば今回、ということをお願いしました」

ホンマさんから提案があったのは、知床に鹿猟に行くことだった。鹿猟の撮影はホンマさんの近年のライフワークになっている。

「目の前で鹿が血を流して死んでいく。命が繰り返されているのを間近で見るとすごい体験でした。今回、ホンマさんとコラボレーションすることで、そういう経験を作品化できるのではないかと思います」

劇場空間でのパフォーマンスとはいえ、制約された場所として劇

「最近、関西のダンス界はニュースがない、と思っっているんです。そんな現状をかき回したいんですよ」

そう言っって不敵に笑った塚原さん。新銳のパフォーマンスグループと世界を股に駆ける写真家は、どのような融合を果たすのか。あるいは、融合させないパフォーマンスを選ぶのか。何とも楽しみだ。

現代演劇・ダンスの中心地  
**アイホール**  
伊丹 2-4-1 ☎072-782-2000

ホンマタカシ ×  
contact Gonzo  
「タイトル未定」



詳細は最終  
ページにて

12月7日(土) 19:00~、  
8日(日) 17:00~。  
一般2,500円、学生2,000円  
(当日2,800円)

# ロシア国立モスクワ・クラシック・バレエ 『白鳥の湖』全3幕

11月24日(日) 開演 15:00(開場 14:30)  
S席 6,500円 A席 5,000円(全席指定)



「古典バレエの最高傑作を、ぜひ間近で堪能してください！」

(いたみホール事業担当／<sup>てんぼ</sup> 轉保 麻子)

言わずと知れたバレエの代名詞、永遠に語り継がれる古典バレエの最高傑作『白鳥の湖』。演じるのはステパネンコやマリ―ホフらを輩出したバレエ大ロシアの実力派名門バレエ「ロシア国立モスクワ・クラシック・バレエ」団です。全幕作品上演のための来日は実に20年ぶり！この劇場のプロダクションは非常に稀な英ソ合作であり、英国での初演時には、公演全てが完売となるほど注目されました。運命の出会いをした白鳥の姫と王子の愛、悪に翻弄される恋人たちの悲劇、そして感動的な結末。優雅で気品に満ち溢れた美しいアンサンブルをご堪能下さい。

「あらすじ」成人を迎えるジークフリート王子は母親である王妃に翌日の舞踏会で花嫁を選ぶよう言い渡された。憂鬱な気持ちで湖に向かった王子は、悪魔ロットバルトの呪いによって白鳥の姿に変えられた美しい娘オデットに出会う。二人はすぐに恋に落ち、呪いを解くため王子はオデットに永遠の愛を誓う。しかし翌日の舞踏会で王子はオデットとよく似たオデールに惑わされ、彼女に愛を誓ってしまうが、実はオデールは悪魔ロットバルトの娘だった。過ちに気づいた王子はオデットに許しを乞い、死を覚悟して戦う。美しく気高い白鳥の群舞に、清純な白鳥オデット・妖艶な黒鳥オデールの演じ分けも見どころ。

# 食欲の秋!? 読書の秋!? 実りの秋!!

昆虫と自然とヒトの

## エトセトラ

伊丹市昆虫館 学芸員／野本康太

夏がようやく終わり、街中に鳴り響いたセミの大合唱は、「コオロギやキリギリスなど秋の鳴く虫たちの歌声へと移り変わる。公園にあるコナラの木をふと見れば、大きく育ったドングリたちが地面に落下するのを待っている。緑色の実が茶色く色づくまであともう少し。今年も実りの秋がやってくる。サクラ満開の4月頃、コナラは黄緑色の小さな花をひっそりと咲かせる。人目は惹かないが、ハチやアブが花粉を求めやってくる。花は風に吹かれ花粉を飛ばし、あるいは虫の力を借りて受粉する。この時できた小さな命は、約5ヶ月を経て、立派なドングリとなる。ドングリは、ぼとんと落ちて転がって、早ければ冬の間には芽生えてしまう。ネズミやカケスなど貯

食性の動物に集められ、そのまま食べられずに芽を出す場合も。脚や翅で自由に移動する虫たちと違い、植物の移動は難しい。しかし同じ場所にとどまればかりはいられない。植物は次世代を担う種や果実に工夫をこらし旅をする。動物に付着して移動する種、果実を鳥や動物に食べさせて落ちたフンから芽生える種、風に吹かれて移動する種、川や海流に運ばれる種など様々だ。子孫繁栄に力ける植物たちの知恵は種子のデザインとなつて現れる。



右上/コナラの花(4月)  
右下/コナラの若い実(8月)  
左上/コナラのドングリ(9月)  
左下/種の標本(左:風に吹かれて移動するユリノキの種、下:動物にくっついて移動するオオオナモミの種、右:落下して転がって移動するコナラの種)

### 企画展「種子のデザイン～旅するかたち～ in いたこん」

展示協力: 大阪市立自然史博物館、さしわだ自然資料館、株式会社 LIXIL LIXIL ギャラリー

10月23日(水)～1月20日(月) 9:30～16:30(入館は16:00まで)

毎週火曜、12月29日～31日休館、一般400円、中高生 200円、3才～小学生100円

虫たちがもっと身近になる

伊丹市昆虫館

昆陽池 3-1 ☎072-785-3582

市民文化活動の拠点

いたみホール (伊丹市立文化会館) 宮ノ前 1-1-3 ☎072-778-8788

12/7(土)

稲垣の声がつむぐある恋の物語

## いたみホール



「ドラマティック・レイン」や「夏のクラクション」[クリスマスキャロルの頃には]他、数々のヒット曲とともに待望の伊丹再公演が決定！デビュー31周年を迎え、輝き続けるレイニー・ボイス。大人のためのラブ・ソングをお楽しみ下さい。

## 稲垣潤一アコースティックライブ 2013

12/7(土)17:00。全席指定 5,200円。072-778-8788

12/8(日)

ケルトの実力派スーパーバンド！

## 伊丹アイフォニックホール



現在世界中で一番ホットなアイリッシュミュージックを聞かせるバンド、ルナサが来日！抜群のグルーブでケルト音楽シーンを疾走する彼らの、研ぎ澄まされた心地よいサウンドをぜひ体感してください。

aiphonic 地球音楽プログラム  
新境地へケルトの調べ

12/8(日)16:00。

一般 3,500円、学生 2,500円(当日各 500円増)。072-780-2110

12/15(日)

一人で 27 役を演じる驚愕の舞台

## いたみホール



全国で話題の天才人形劇俳優たらじょうが、たった一人で人形を操りながら全 27 役を演じ、踊り、歌います。何世代にもわたって読み継がれている児童文学「オズの魔法使い」による人形劇の常識を覆す最高傑作です。

宝くじ文化公演 人形劇俳優たらじょうの世界  
人形劇ミュージカル「オズの魔法使い」全 3 幕

12/15(日) 15:00。全席指定 一般 1,500円、高校生以下 1,000円(当日各 200円増) 072-778-8788 ※宝くじの助成により特別料金になっています

## プレビュー

※イベントにより、未就学児の入場の制限等がある場合がございます。詳細は各施設にお問い合わせください。

11/2(土)~12/23(月・祝)

わたしは憎むものを描く。わたしは愛するものを描く

## 美術館



「一行の詩のためには…:リルケ  
「マルテの手記」より」

名もない人々の暮らしを愛し、絵で綴った画家ベン・シャーン(1898~1969)。震えるような線からは、哀しみや怒り、やさしさといった感情が伝わってきます。本展では絵画、ドローイング、ポスターなど約300点で全貌を紹介します。

丸沼芸術の森所蔵  
ベン・シャーン展 線の魔術師

11/2(土)~12/23(月祝)。10:00~18:00(入館は17:30まで)。月休(祝日の場合、翌日休) 一般 700円。072-772-7447

12/22(日)

ハーブとフルーツの調べに歌声をのせて

## ラストホール



クラシックを身近に楽しめると好評のアーベントコンサート。今回はハーブ、フルーツそしてソプラノの歌声でクリスマスにふさわしい名曲をお贈りします。美しい調べでロマンチックなクリスマスへのひと時をお過ごしください。

## いたみアーベントコンサート vol.81

12/22(日)14:00。一般 1,600円、高校生以下・60歳以上 1,200円(当日一般 2,000円、高校生以下・60歳以上 1,500円)。072-781-8877

1/22(水)~3/31(月)

カメムシだらけにしたるかー！

## 伊丹市昆虫館



くさい！不快！害虫！と嫌われるカメムシ。でも、あなたの知るカメムシはほんの一部。美しいカメムシ、子育てをするカメムシ、いい匂いのするカメムシ、カメムシの魅力を紹介。2013年初夏にジュンク堂袋本店で大好評を博した同名展示もリバイバル！

## 企画展「カメムシ～あれもカメムシ？これもカメムシ！～」

1/22(水)~3/31(月)。9:30~16:30(入館は16:00まで)。火休(祝日の場合、翌日休)大人400円、中学生200円、3歳~小学生100円。072-785-3582

開催中~10/27(日)

知的好奇心を刺激するコレクション

## 美術館



前田藤四郎(大阪の四季 新緑の大阪城)

所蔵品から、知的好奇心を刺激する2つのテーマで企画するコレクション展。Room1では「○△□(まる、さんかく、しかく)」による様々な表現作品を、Room2では19世紀イギリスの挿絵と絵本の原点を探るユーモア溢れる作品を紹介。

## THE COLLECTION 2013

[Room1: ○△□ / Room2: 19世紀イギリスの挿絵と絵本]

開催中~10/27(日)。10:00~18:00(入館は17:30まで)。月休(祝日の場合、翌日休) 一般 300円、大高生200円、中小生100円。072-772-7447

10/5(土)~10/27(日)

これが漆!? 漆造形作品の集大成

## 工芸センター



“いのちの再生”をテーマに、漆の現代的な作品を制作している栗本夏樹さん。本展では、樹皮を使った新しい壁面作品をはじめ、漆造形作品約50点と漆器作品約100点を紹介。漆の持つ特性と概念を深め、常に新しい漆の世界を切り開く栗本夏樹の世界をお楽しみください。

## 栗本夏樹 漆造形展 一のちの再生

10/5(土)~10/27(日)。10:00~18:00(入館は17:30まで)。

月休(祝日の場合、翌日休) 無料。072-772-5557

10/26(土)

東京で再会した家族のふれあいとすれ違い

## ラストホール



大切なのに煩わしい。誰よりも近いはずなのに、時々遠く感じてしまう。どの世代が見ても共感を呼ぶ、ひとつの家族のカタチがこの映画に描かれています。山田洋次監督 50周年記念作品。主演/橋爪功、吉行和子 他。

## ラスト映画倶楽部「東京家族」

10/26(土)。10:00/14:00/18:00。

一般 800円、高校生以下・60歳以上 600円(当日 200円増)。

072-781-8877

## アイテムおすすめのイベント

10/26(土)、27(日)

現代演劇の傑作戯曲の最新作

## アイホール



撮影:石川繁三(studio STR)

核戦争後の瓦礫の荒野を舞台に、“生きる”ことへの問いかけが語られる『寿歌』シリーズ完結編を作者・北村想の演出で上演。桂九雀・船戸香里・ごまのはえによるリーディングと、新谷祥子によるマリンバ&パーカッションとのセッションにもご注目ください。

## reading evolution マリンバと物語の響演

ほまうた

## 『寿歌Ⅳ~火の粉のごとく星に生まれよ~』

10/26(土)19:00。10/27(日)14:00。1,500円(当日 300円増)。

072-782-2000

11/2(土)~11/10(日)

手づくり作品いっぱいクラフトフェア

## 工芸センター



伊丹工芸クラブ会員の作品を展示即売します。プロの工芸作家やクラフト愛好家による手づくりの器やバッグ、アクセサリー、小物など生活の中で使える素敵な1点物がたくさん。会期中には型染ステンシルや陶芸など、各種ワークショップもご紹介します。

## 伊丹クラフトフェア by 伊丹工芸クラブ

11/2(土)~11/10(日)。10:00~18:00(入館は17:30まで)。

最終日は16:30閉館。月休(祝日の場合、翌日休)。無料。072-772-5557

11/17(日)

ショパン名曲の数々を

## 伊丹アイフォニックホール



1990年ショパン国際コンクールに日本人最年少で入賞して以来、人気実力ともに音楽界をリードし、注目を集める横山幸雄。名曲の数々をご堪能ください。曲目:ベートベン/悲愴、ショパン/英雄ポロネーズ 他

## アイフォニック・セレクション vol.4

## 横山幸雄ピアノリサイタル~ショパン・麗しの名曲を~

11/17(日)14:00。一般 3,500円、学生 2,500円(当日各 500円増)

※親子セット券有り。072-780-2110